

開創二十五周年記念事業について

成寿山善光寺

仮本堂を建てて「善光寺」と命名してより、はや四半世紀を閲しました。まことに光陰矢の如しといふべく、月日のたつのは早いものであります。

今日を迎えられましたこともこれひとえに仏天の加護のもと、檀徒の皆様の絶大なる御協力御支援の賜物で、感謝感激にたえないところであります。

思えば開創して十五年間は釈迦殿の建立整備に向つての寺檀一体の精進の日々でした。昭和五十七年めでたく釈迦殿が完成しましたので、翌年開創十五周年を記念して、本尊脇仏造顕、大般若経六百巻を勧請し、そして報恩の一端として翌々五十九年に海外留学僧派遣育英会を設立し、六十年より留学僧を派遣し今日に及んでおります。

ついで平成元年、開創二十周年にあたり、主として不動殿の整備を記念事業とし、大日如来像をはじめ、薬師・弥陀の二如来像及び不動明王眷属、矜羯羅、制吒迦の二童子像の造立・須弥壇の整備等をおこないました。

何しろ三百年五百年の歴史を持つ寺々の間に伍してのことでありますので、矢継ぎ早や

ではありましたが、さいわい檀家の皆様の御協力により目的を達成することができました。さて本年は開創二十五周年記念にあたりますので、これまでの締めくくりとして次の記念事業を目論んでおります。

一、開創二十五周年記念式典の実施

なるべく大勢の方々にご参加いただくため、五月三十日、大本山総持寺を会場として、梅田禅師様御親修法要と祝宴を予定しています。

二、善光寺留学僧育英会設立十周年記念式典の実施

大韓民国、仏宝宗刹、通度寺方丈尹月下猷下を拝請、三月当山において実施の予定

三、記念出版物の刊行

イ、留学僧派遣、関係十カ国訪問記、留学僧論文集第二集の刊行

ロ、「善光寺の歌」CD及びカセット・テープの作成

四、内外の整備

建物・什物等の小修理

就きましては右記記念事業実施のため、総額三千万円の予算を計上いたしましたので、何卒ご協賛くだされ、浄財の御喜捨を伏してお願い申上げる次第であります。

平成六年一月吉日

善光寺住職 黒田 武志

式典委員長 伊藤 喜三郎

名誉式典委員長 村岡 有尚

実行委員長 富永 豊重